

3 令和4年度の移住者実績について

【移住者実績】

- 令和4年度の移住者数 1 6 組 4 2 名（移住者数は過去最多）
<内訳>
 - ・地区別 加佐地区7組18名、大浦地区1組5名、西地区3組7名、東地区5組12名
 - ・移住前住所地 関東圏6組 京阪神6組 その他3組 海外1組
 - ・移住者家族構成 子育て世帯7組 夫婦世帯6組 単身世帯2組 その他世帯1組
- 過去3年の移住者数
 - 令和3年度 1 4 組 3 0 名
 - 令和2年度 1 9 組 3 8 名（令和3年度までの最多）
 - 令和元年度 1 5 組 3 7 名
- 令和4年度までの移住者実績 1 1 0 組 2 5 4 名（平成23年度～令和4年度）

3 令和4年度の移住者実績について

【令和4年度における移住・定住の取り組み等】

- ・令和4年度に大浦・加佐両地域活性化センターを設置
地域と常時密接な関わりを持つセンターが移住希望者と地域の共通窓口となり、円滑な移住の橋渡し役を担った。
- ・空き家情報バンクのVR化
WEB上の空き家情報バンク登録物件の案内について、令和3年度からVRによりバーチャル見学できる三次元のシステムを導入し、令和4年度には農漁村の物件はすべてVR化。
移住希望者が事前に物件の選定が容易となった。
- ・新型コロナウイルス感染症拡大の影響で地方移住への関心の高まりと新しい働き方（テレワーク）の普及
子育て世帯の移住割合増加（R4年度約44% R3年度約36% R2年度約26%）
移住支援金（テレワーク移住） 該当者2組

3 令和4年度の移住者実績について

【高野地区における移住促進特別区域の指定】 ※制度の概要は別紙

「京都府移住の促進及び移住者等の活躍の推進に関する条例」に基づく「移住促進特別区域」の指定を受けることにより、空き家改修補助などの支援が可能となるもの。

今後、地域の担い手等を確保するため、移住を希望する方々を地域ぐるみで受入れ、賑わいのある持続可能な地域をつくることを目的に取り組む。

・指定区域 高野地区

・指定日 令和5年3月22日

・その他 本市では、加佐地区・大浦地区・池内地区に続き4か所目地域と連携した移住促進、空き家情報バンクへの登録促進に取り組む



問い合わせ先

事業名	担当課	担当者	電話番号	FAX番号	メールアドレス
令和4年度の移住者実績について	移住・定住促進課	砂田、坂本	66-1085	62-5099	iju-teiju@city.maizuru.lg.jp